

V-3. 小児科領域業績

：データ利用申請と学会発表、論文化

1. データ利用申請

平成 20 年

1) 申請者：森本 克

申請課題：造血幹細胞移植後の 2 次性悪性腫瘍の発生状況

審査結果：承認

2) 申請者：吉見礼美

申請課題：若年性骨髄単球性白血病（JMML）に対する 2 回目造血幹細胞移植の成績

審査結果：承認

3) 申請者：磯山恵一

申請課題：移植細胞ソース選択の指針作成

審査結果：承認

4) 申請者：岡村隆行

申請課題：小児白血病に対する移植前処置の検討

審査結果：承認

5) 申請者：矢部普正

申請課題：造血細胞移植の標準化に向けて；小児白血病に対する GVHD 予防法の検討

審査結果：承認

6) 申請者：小寺良尚、Uwe Thiel

申請課題：ユーイング肉腫に対する造血幹細胞移植の国際共同研究（調査）

審査結果：承認

平成 21 年

1) 申請者：浅野健、石井栄一

申請課題：造血幹細胞移植後に発生した H P S

審査結果：承認

2. 学会発表

平成 19 年

- 1) 足立壮一、田渕健、堀越泰雄、磯山恵一、土屋滋、渡辺新、加藤剛二、河野嘉文、東英一、小池健一、小島勢二、麦島秀雄、加藤俊一. 小児 ALL、AML に対する HL A 一致同胞からの初回移植成績の解析－BMT と PBSCT の比較－. 第 29 回日本造血細胞移植学会総会. 2007. 2. 16. (福岡)

平成 20 年

- 1) 渡辺修大、松本公一、加藤俊一、足立壮一、磯山恵一、土屋 滋、渡辺 新、河野嘉文、堀越泰雄、東 英一、小池健一、小島勢二、麦島秀雄、加藤剛二。小児固形腫瘍に対する TEPA+LPAM 前処置による自家造血幹細胞移植についての解析。第 30 回日本造血細胞移植学会総会。2008. 3. 1. (大阪)
- 2) 田淵健。小児造血幹細胞移植登録事業における移植成績の解析 2008。第 50 回日本小児血液学会総会、2008. 11. 16. (幕張)
- 3) 大賀正一。小児血球貪食リンパ組織球症に対する造血幹細胞移植療法の成績と問題点。第 50 回日本小児血液学会総会、2008. 11. 16. (幕張)
- 4) 菊地陽、真部淳。小児骨髓異形成症候群に対する造血幹細胞移植について。第 50 回日本小児血液学会総会、2008. 11. 16. (幕張)

平成 21 年

- 1) 渡辺修大。造血細胞移植の標準化に向けて；小児白血病に対する GVHD 予防法の検討。第 31 回日本造血細胞移植学会総会。2009. 2. 5. (札幌)

平成 22 年

- 1) 矢部普正、渡辺修大、足立壮一、石田宏之、磯山恵一、太田秀明、岡村隆行、古賀友紀、鈴木信寛、長澤正之、堀越泰雄、望月一弘、JPLSG-SCT 委員会 初回寛解期・慢性期の造血器腫瘍に対する小児造血細胞移植の GVHD 予防法別成績 第 32 回日本造血細胞移植学会総会 2010. 2. 19. (浜松)
- 2) 石田宏之、堀越泰雄、岡村隆行、鈴木信寛、太田秀明、渡辺修大、古賀友紀、磯山恵一、望月一弘、足立壮一、長澤正之、矢部普正、JPLSG-SCT 委員会 小児 B 前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する前処置の後方視的検討 第 32 回日本造血細胞移植学会総会 2010. 2. 19. (浜松)
- 3) 足立壮一、新里亜紀、田淵 健 小児 ALL, AML に対する初回移植成績の解析-小児移植のドナーソース選択のトレンドは？ 第 32 回日本造血細胞移植学会総会 2010. 2. 19. (浜松)

3. 論文

平成 19 年

- 1) Atsuta Y, Suzuki R, Yoshimi A, Gondo H, Tanaka J, Hiraoka A, Kato K, Tabuchi K, Tsuchida M, Morishima Y, Mitamura M, Kawa K, Kato S, Nagamura T, Takanashi M, Kodaera Y. Unification of hematopoietic stem cell transplantation registries in Japan and establishment of the TRUMP System. Int J Hematol. 2007 Oct;86(3):269-74.

平成 21 年

- 1) 田淵 健、気賀沢寿人、吉見礼美、熱田由子、足立壮一、磯山恵一、井上雅美、加藤剛二、河野嘉文、菊地 陽、小林良二、土屋 滋、堀越泰雄、矢部普正、渡辺 新、加藤俊一 小児期造血幹細胞移植全国集計(1983~2005)-細胞源ドナー別移植成績 日本小児血液学会雑誌 2009;23: 142-154.

平成 22 年

- 1) Ohga S, Kudo K, Ishii E, Honjo S, Morimoto A, Osugi Y, Sawada A, Tabuchi K, Suzuki N, Ishida Y, Kato S, Hara T. Hematopoietic stem cell transplantation for familial hemophagocytic lymphohistiocytosis and Epstein-Barr virus-associated hemophagocytic lymphohistiocytosis in Japan. *Pediatric Blood and Cancer* 2010; 54(2): 299-306.
- 2) K Kudo, S Ohga, A Morimoto, Y Ishida, N Suzuki, D Hasegawa, Y Nagatoshi, S Kato and E Ishii. Improved outcome of refractory Langerhans cell histiocytosis in children with hematopoietic stem cell transplantation in Japan. *Bone Marrow Transplantation* 2010; 45(5): 901-906.
- 3) 渡辺修大、他、日本小児白血病リンパ腫研究グループ (JPLSG) S C T 委員会. 小児急性骨髄性白血病第一寛解期での HLA 一致同胞間骨髄移植における GVHD 予防 (MTX 単独 vs CyA 群) の比較. *日本小児血液学会雑誌* 2010; 24(1): 32-36.